

ルーラ 大統領選に強行出馬表明

Fリンパ法の隙間かいくぐり 今後次々に降りかかる訴訟

聖州グアラジャリの高級三層住宅を介した取崩しと資金洗浄の第2審裁判が24日、南大河州ポルト・アレグレの第4地域裁(TRF4)で行なわれ、ルーラ元大統領は1審よりも重い、禁錮12年1カ月の判決を受けた。それにも関わらず、ルーラ氏ならびに労働者党(P.T.)は、同裁や上級裁判所に「判決不服」の申し立てをしてフィッシュ・リンパ法の隙間をかいくぐり、大統領選立候補強行を宣言した。だが今後、別の刑事裁判が、続々とルーラ被告に降りかかりそうだ。26日付、伯字紙が報じている。

ルーラ氏は判決後に「強行出馬表明」を行なった。聖州の抗議集会に参加し、連邦直轄地区では25日、ルーラ氏の国外渡航を禁止し、パスポート提出を命じた。ルーラ氏は26日からエチオピアに渡航予定だった。



TRF4のジェブラン・ネット報告官 Sylvio Sirangelo/TRF4

第2審では特にジェブラン・ネット、パウロ・セラーの両当事から、連邦警察からあがった捜査結果や資料を長時間かけて分析した結果が語られた。とりわけグアラジャリの物件のルーラ氏と故マリ・リザ夫人との間の所有と交渉の歴史についても分析された。

ジェブラン・ネット判事は、かねてから「証拠がない」と主張するルーラ氏側に対し「このタイプの犯罪は受領書を残さない巧妙なもの。それが政界で受け継がれている」と語った。

なお、1審で10年8カ月の判決を受けていた純粋応用数学研究所(Impa)が25日、伯国の数学のレベルが世界トップレベルだとされる第5組に入った事を発表した。26日付のフオリヤ紙が報じた。

これは国際数学連合(IMU)が加盟76カ国を、5つの組に分けたもの。第5組のレベルが一番高く、第1組のレベルが一番低い。

IMUはドイツのベルリンに本部を置き、数部門での国際的な協力を行うNGOで、現総裁は日本人の森重文氏だ。Impaディレクターのマルセル・ヴィアナ氏は、「これは数学の世

界選手権があったとしたら、伯国が上位11カ国に名連ね基礎教育の低さに注文も

伯国は2014年、伯人学者のアルトウ・ルー・アヴィラ氏のフイ

の1部リーグにはいったという」と語った。伯国は1954年にIMUに加盟し、1組からスタートして、78年に2組、81年に3組、2005年に4組へと昇格した。5組となった今

今回の判決結果でルーラ氏支持者が暴動でも起こさないか、と心配さされた25日の聖州市政界が荒らされた話はない。ヴァーレ・ド・アニャ

結果に表情を変えることなく、「対立候補への反対キャンペーンはしない」と冷静さを保つてい

は、週2試合の速いペースで試合が行なわれている。今週末で早くも第4節。本日は早くもパカエンブでコリンチャンス対サンパウロという、今年最初のクラシコが行なわれる。オフ明けで、まだ佳境に入らないうちは選手だけでなくファンも今一つ盛り上がりにくいかもしれないが、どうなるか。

ルーラ どうしたら逮捕を免れるか? TRF判事は2審終了で執行

24日のルーラ元大統領の第2審有罪判決を受けることになる。だが、最高裁では昨年12月の全国環境党(PEN)とブラジル弁護士会(OAB)からの提案を元に、この件に関する見直しの動きが起きている。その提案を行なったのが、16年10月の審理の際に報告官を「急がれる最高裁での判断

つとめ、判事投票で支持されたマルコ・アウレリオ・メロ判事だ。この見直しの要求は「16年10月の時点で6対5と接戦だった上に、判事も1人入れ替わっており、票の逆転の可能性が極めて高い」という。

と、ルーラ氏が2審目終了で刑務所に入ることに。現行法では難しい。また憲法で正式に定められていることではないが、ルーラ氏が刑務所に入ることは、国が壊れてしまう可能性がある」として、この件に関して別の判事も投票を行ない、いずれも2審目有罪での受刑が優勢だったの」という

声もあるという。今回の2審目でルーラ氏に12年1カ月の実刑判決を下した、連邦第4地域裁(TRF4)のレオ・メデイロス判事は、「第2審の不服申し立て手続きが

全て終了したら、ルーラ氏は刑執行をうける」としている。

26日付フオリヤ紙によれば、ルーラ氏が刑務所に入るのを避けるために、次の上告先の高等裁

最高裁の11判事の過半数から人身保護状の支持を得ることだろうというのが、大半の上級判事らの意見のようだ。

ルーラ氏の場合、順番どおりに上告すると高等裁だ。だが同裁判所の担当判事がラウア・ジャック・ス・フィッシュ判事であり、ラウア・ジャック判事は、ラウア・ジャック判事と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

この日の午後、リオ市軍警のエンリケ・ピレス大佐は、「怪我人は出たが、ロッシニヤ鎮静化作戦は想定内で行った」と語った。

リオ市軍警特別作戦部隊隊長のマルセロ・ノゲイラ大佐も、「ロッシニヤやヴィジガルの地域に平和と安定をもたらすまで我々は一歩も引かない」と語った。

「既報関連」聖州53自治体と、聖市20区、さらにはリオ市を含むリオ州の15自治体で、黄熱病予防ワクチン(通常より少ない接種量で、有効期間は8年)接種キャンペーンが25日から始まった。26日付の伯字紙・サイトが報じた。

聖市保健局によると、初日だけで9400人が接種した。同市保健局は「事前に配布される整理券を持って、指定時に保健所(UBS)などの指定医療機関に来るよう」と告知していた。

整理券を持たずにUBSに行き、ワクチン接種を受けようとする人もいたが、その多くは受けられなかった。

整理券配布を行うのは、家族の健康戦略部隊(ESF)が中心だ。ESFの担当区域に住む人々は、UBSに行くのではなく、UBSでワクチン接種を受けに来た人、整理券を貰いに来た人と2種類の行列ができて混乱した。

同じ整理券配布という措置がとられたり、市中でも初日の25日は混乱が見られた。

25日の午前6時より、リオ市軍警はロッシニヤ沈黙化作戦を決定。麻薬組織との銃撃戦に発展した。

銃撃戦は激しさを増したが、バスに火がついたら、現場周辺の軍警平和維持隊部隊(UPP)本部の窓ガラスにも着弾

も波及し、軍警大隊とヴィジガルのUPPに詰めていた警察が、麻薬組織と対峙した。

国際派日本人養成講座

伊勢雅臣

『論語』が元気な脳を育てる

現代の脳科学は、『論語』が活き活きとした脳を育てる事を示しつつある。

1. 生き方が脳の健康に影響？

現代の脳科学は、『論語』が活き活きとした脳を育てる事を示しつつある。

残念ながら、この患者の認知症は治療の糸口もみつけれないまま進行してしまつたという。

この患者と対照的な例として、篠浦さんが挙げているのが、沢沢米一である。90歳の長い人生の中で、明治・大正期の近代国家建設のために第一国立銀行、日本鉄道会社、日本郵船会社など企業5百、公共・社会事業6百の設立に貢献した。幼少期から学んだ『論語』を指針とし、80歳近くになっても『論語』と算盤などの著書を著して、道徳と経済を一致させる必要を説いた。

本を読まず、自分のことしか考えない傾向があった社長は、認知症になつた。一方、幼少期から『論語』に学び、世のため人のために尽くした沢沢米一は90余年の長い人生を生き活きと過ごした。

どう生きるか、という姿勢が、実は脳の健康にも大きく影響しているのかもしれない、というのが脳外科医としての篠浦さんの研究テーマである。

その方は会社の社長さんでしたが、時代の変化に伴って業績が下がり、そのストレスによって認知症になつてしまいました。奥さんに元気なときの行き方についてお話をうかがつてみたところ、次のようなことがわかりました。

子供の頃に戦争を体験したため、真意の中からは上がるように心が強かったこと、自分のことしか考えない傾向があったこと、他人受けはよかつたが面倒な仕事になると他人任せにすることが多かつたこと、本はほとんど読まないこと・・・など。

2. 「私」の動物脳

「公」の人間脳

篠浦氏の著書「1」には、脳のいろいろな部位の説明があるが、その中で特に示唆に富むのは「動物脳」と「人間脳」の部分である。篠浦氏は次のように説明している。「1、p31」

次に脳を上下に分けてみます。脳の中心下方には大脳辺縁系という動物的本能、保身にかかわる脳があります。これを便宜上「動物脳」と呼びます。

一方、大脳辺縁系の上層・外側には大脳新皮質という進化の過程で新しくできた脳があります。人間はこの大脳新皮質が他の動物に比べてより発達しているため、これを便宜上「人間脳」と呼びます。

動物脳は本能的に自分の身を守る働きをします。この動物脳は自分の身を第一に考えるという点で、人間学的にいうと「私」、「論語」でいえば「小人」的なあり方として表される行動にかかわります。

論語 (wikimediacommons)

動物脳は本能的に自分の身を守る働きをします。この動物脳は自分の身を第一に考えるという点で、人間学的にいうと「私」、「論語」でいえば「小人」的なあり方として表される行動にかかわります。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張つたり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

(ニッケイ新聞編集部)

4. 動物脳が阻む

「仁・義・礼・智・信」

篠浦氏によれば、『論語』の中心思想である「仁・義・礼・智・信」の二つが、動物脳との関係で説明できる。「1、p138」

たとえば、「仁」は相手を思いやる心ですが、動物が主体で自分の保身のみを考えると結果的に相手を思いやる心の余裕は生まれず、相手を利用するところばかりになるようになります。

「義」は正義(弱きを助ける)ですが、動物脳が主体になると正義どころか私腹を肥やすほうばかり頭を使うようになりがちです。

「礼」は相手に敬意を払う態度ですが、動物脳が主体になると弱者に対して傲慢になるまいがちです。

「智」は知識を得ることで、動物脳が主体になると、年をとつたり、あるいは自分の得にならないと思つたことに対して、知ろうとする意欲が失せていき

一方の人間脳は、組織を作つたり技術を発達させるりすることにかかわります。動物脳に対して人間脳は外に目を向けて全体を考えると、人間学的にいうと「公」、「論語」でいえば「大人」的な態度にかかわる脳といつてかまいません。

冒頭の認知症になつてしまつた会社社長は、自分のことしか考えない傾向があった、というから、「私」の動物脳中心の生き方をしていたのだらう。逆に、世のため人のために尽くした沢沢米一は「公」の人間脳をよく使つていたと言えそうです。

3. 動物脳中心の

小人の生き方

「論語」で小人の生き方として戒められている項目は、動物脳による保身本能から説明できる。

たとえば字面から出てくる「巧言令色鮮し仁」。言葉巧みに、表情を取り繕っている人には仁が少な

篠浦氏はいろいろな人と接するうち、「巧言令色は動物脳が主体になって自分かわいさのあまり出るものだ。そのような人は仁のない人間であり、信用してはいけない」と痛感するようになったという。「1、p99」

子路篇の「君子は泰にして驕らず」は、「立派な人物は、ゆったりとして驕つたところがない」という意味で、逆に小人ほど驕り高ぶるとされている。これを篠浦氏は次のように解説している。「1、p104」

驕りほど進歩を阻害するものではありません。それは動物が自分より弱いものを見ると威嚇して大きく見せようとしているのと全く同じで、動物脳が脳の主役となって働いている証拠です。

動物脳中心に保身本能で生きている人は、自分より強い人に対しては巧言令色を振り、弱者に対しては驕り高ぶつて見せる。どちらも小人の生き方である。

5. 暴走する動物脳

冒頭で紹介した社長は、動物脳主体による自己中心的な生き方をしていたのだが、会社の業績が下がるにつれて、そのストレスで認知症になつてしまつた。このメカニズムは、脳科学である程度、解明されている。「1、p31」

脳内ではストレス(敵)がかかると側頭葉の内側にある扁桃体という神経細胞からアルドレナリンという神経伝達物質が分泌されています。すると動物脳は、それに反応して攻撃・待避行動をとります。

この動物脳は、自分の生存が危うくなると暴走する性格があるという。「1、p132」

ストレスがあると、人間は眠れなくなつたり、頭痛、吐き気、ふらつき、息苦しさなどの症状を起こします。症状が重くなるとパニックになることもありま

6. 動物脳の暴走を

抑えるには

ストレスによる動物脳の暴走を抑えるには、どうしたら良いのか。ここでも『論語』は重要な示唆を与えている。

「君子固より窮す。小人窮すれば、斯に濫る」。小人は窮地に陥れば取り乱す。君子も当然窮地に陥ることがあるが、小人のように取り乱したりしない。この差はどこから来るのか。篠浦氏はこう解説している。「1、p141」

窮地に陥つて、自分の身がどうなるのだらう、と自分のことだけ考えていると、動物脳が暴走して、正常な判断力を失う。これが「小人窮すれば、斯に濫る」といつてことである。

自分のことと思いついても、自分がやつたことでも人に言んでもらうと気が楽になるのは、動物脳から離れたためです。そういう余裕が生まれると強ストレスを感じる緊急事態でも動物脳の暴走をくいどめやすくなり、ストレスを乗り越える原動力になります。

不安感というものは、その場から逃げなければ脳の活性化につながるのです。

君子は自分の保身より「公」を考えようとする。その姿勢が動物脳の暴走を止め、人間脳を働かせる。人間脳はストレスを「乗り越えるべき課題」と捉えて逆に活性化します。

同じくストレスを受けても、認知症になつた社長さんと90歳過ぎまで生き活きと社会に貢献した沢

7. 楽をしたがる動物脳

動物脳は身の危険を感じると暴走するが、逆に自己満足すると、楽をしよう、休もうとする。そのため動物脳を主体にして生きている人は、ある程度生活水準に達すると、そこで満足してしまい、向上心がなくなつてしまふ。

動物脳と人間脳の間には帯状回という部位がある。帯状回を抑制できず、認知症(アルツハイマー)になる。人間が何かに夢中になると、帯状回が活発に働き、人間脳と動物脳が一体になつて脳全体が活性化

「憤りを発して食を忘れ、楽しみを以て憂いを忘れ、老いの將に至らんとする知らざるのみ」と(学問に没頭して食事を忘れ、向上を喜びみとして憂いを忘れ、老いが近づき奇こころさえずつかないほどです)。

『論語』学而篇のこの一節は、まさに帯状回が活性化して、学問や仕事に打ち込んでいる人間の姿を現している。

人間が「私」のためにだけに生きていると、ある程度の富や名声を得れば、自己満足してしまふ。ところが、「公」のために生きている人には、「もう満足」という状態はありえない。沢沢米一が企業5百、公共・社会事業6百の設立に貢献し、80代後半になつても、まだ著述を続けていたのが良い例である。

「公」のために、仕事や学問に打ち込む事が、脳の活性化、老化防止につながるのである。

8. 元気な人間脳を育てるために

篠浦氏の本を読むと、現代日本で自虐や校内・家庭内暴力、引きこもり、メンタルなどが目立ってきた理由がよく分かる。それは「公」のために生きるという姿勢を、戦後教育が否定し、その結果、人間脳が未発達なまま、ストレスを受けては動物脳が暴走する「小人」を作つてきたからであらう。

伝統的な我が国の教育では、『論語』を生き方のお手本としてきた。「私心」を去る事で動物脳を抑制し、「公」のための志を持つ事で、人間脳を発達させ、艱難すなわちストレスを活力源に変える生き方を説いてきた。

孔子が説いてきた生き方は立派な社会を作ると共に、健康で活力に満ちた脳を育てる道である事を篠浦氏の研究は示しつつある。

本講座では近年、幼児・児童教育でも『論語』が

見直されつつある状況を紹介したが、それによつて健康で活力にあふれた人間脳を持つ日本人が輩出される事を期待したい。

(文責・伊勢雅臣)

参考文献

1. 篠浦伸徳『脳は「論語」が好きだった』、致知出版社、H22

国際派日本人養成講座
 発行人=伊勢雅臣(文責)
 Mail: ise_masaomi@gmail.com
 Twitter: https://twitter.com/ise_masaomi
 無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

ニッケイ新聞大人気シリーズ! 最新刊販売中!!

CULTURA JAPONESA 6
 戦争と移民 沖縄ディアスポラ

● 凄絶極めた沖縄戦。沖縄移民はそこから生まれた。
 ● 喜びと共に覚醒する 新世代のウチナンチュ。アイデンティティ

子供たちの日本を見る目が変わる!!

お問い合わせ・販売 詳細はニッケイ新聞社編集部まで ☎(11-3340-6060) 日系書店でも販売中! 地方発送も出来ます!
 太陽堂 (11-3208-6588) フォノマギキ内書店 (11-3104-3399) 高野書店 (11-3209-3313) 沖縄県人会 (11-3106-8923)

セットでお得キャンペーン

『日本文化』5巻まで同時購入で 195円が160円に 35%割引!

ニッケイ新聞で大好評連載中の「国際派日本人養成講座」を中心に 日本独自の文化や歴史を 日ボ両語で紹介!

日本文化1 RS35.00 日本文化2 RS40.00 日本文化3 RS40.00 日本文化4 RS40.00 日本文化5 RS40.00

ニッケイ新聞大人気シリーズ! プレゼントにも!

お問い合わせ・販売 詳細はニッケイ新聞社編集部まで ☎(11-3340-6060) 日系書店でも販売中! 地方発送も出来ます!
 太陽堂 (11-3208-6588) フォノマギキ内書店 (11-3104-3399) 高野書店 (11-3209-3313) 8MUNITY SHOP - SANTA ANNE (11-4472-4532)

Desastre Natural (23/01/2018)

Erupção mata uma pessoa e deixa onze feridos em Gunma

Um vulcão da Província de Gunma, ao norte de Tóquio, entrou em erupção na manhã de terça-feira. Uma pessoa morreu e onze ficaram feridas com as pedras ejetadas pelo vulcão.

Segundo a Agência de Meteorologia do Japão, tremores vulcânicos de grandes proporções foram sentidos no Monte Kusatsu-Shirane por volta das 10 horas da manhã, horário local. Rochas vulcânicas foram con-

firmadas em uma área de mais de um quilômetro a partir da cratera do vulcão. Algumas das rochas caíram em uma estação de esqui enquanto membros da Força Terrestre de Autodefesa treinavam no local. Oito deles foram atingidos pelas rochas. Um morreu e sete ficaram feridos.

Quatro esquiadores também se feriram quando as rochas

estilhaçaram janelas de uma gôndola do teleférico da montanha.

De acordo com as autoridades locais, cerca de 80 pessoas foram resgatadas depois de ficarem isoladas em uma estação do teleférico próximo do topo da montanha.

A Agência de Meteorologia do Japão elevou o nível de alerta vulcânico para três. O governo está pedindo que as pessoas evitem se aproximar

do Monte Kusatsu-Shirane. Em um primeiro momento, as Forças de Autodefesa haviam anunciado que seu pessoal havia se ferido com uma avalanche que atingira a estação de esqui. Posteriormente, disseram que os ferimentos foram provocados pelas rochas vulcânicas lançadas ao ar pela erupção. Acrescentaram ainda não ter confirmado a ocorrência de uma avalanche.

Jogos Olímpicos de Inverno (24/01/2018)

Premiê japonês quer ir à abertura dos Jogos Olímpicos de Inverno na Coreia do Sul

O primeiro-ministro do Japão expressou interesse em estar presente na cerimônia de abertura dos Jogos Olímpicos de Inverno no mês que vem na Coreia do Sul, se as circunstâncias permitirem.

Funcionários da Coreia do Norte e do Sul estão realizando conversações para discutir a participação da Coreia do Norte nos eventos olímpicos de fevereiro. As negociações marcam uma paralisação das tensões em volta da Península Coreana.

Em entrevista concedida a

jornalistas nesta quarta-feira, Shinzo Abe referiu-se à Olimpíada de 2020 em Tóquio ao explicar que pretende estar na cerimônia de abertura em Pyeongchang porque os Jogos também se realizam na Ásia.

Disse aguardar a possibilidade de ter, na mesma viagem, um encontro com o presidente da Coreia do Sul. Falou da intenção de reconfirmar com Moon Jae-in a necessidade de trabalhar em estreita colaboração com os Estados Unidos para enfrentar a ameaça da Coreia do Norte e exercer

continuamente pressão máxima sobre Pyongyang. Além disso, Abe afirmou que, se houver a reunião de cúpula, poderá comunicar a posição do Japão com respeito ao acordo firmado com a Coreia do Sul sobre as chamadas “mulheres de conforto”.

Concluído no final de 2015 no governo da presidente Park Geun-hye, antecessora de Moon, o acordo confirmou uma resolução final e definitiva da questão.

Este mês o atual presidente sul-coreano deu indicações de que considera falho o

acordo e que o Japão precisaria tomar novas medidas para resolver inteiramente a questão das chamadas “mulheres de conforto”. Moon Jae-in afirmou, contudo, que não tentará obter uma renegociação do acordo. Em resposta, o premiê japonês disse considerar inaceitável que a Coreia do Sul exija novas medidas do Japão a este respeito.

A Presidência sul-coreana recebeu positivamente a notícia da pretendida visita de Shinzo Abe.

Comentário (22/01/2018)

Negociações salariais e gastos dos consumidores no Japão

As negociações salariais do ano no Japão tiveram início efetivo em um fórum, nesta segunda-feira, com descrições sobre estratégias feitas por representantes de trabalhadores e patrões. No dia 16, citando o bom desempenho dos negócios, a Federação das Empresas do Japão — Keidanren — anunciou que vai propor às firmas a concessão de aumentos salariais de 3% para os trabalhadores. A entidade atendeu, assim, a um pedido que foi feito pelo primeiro-ministro, Shinzo Abe. É extremamente raro o estabelecimento de uma

meta numérica para o disídio anual no Japão. Até que ponto serão elevados os salários este ano? A elevação fará aumentar acen-tuadamente os gastos dos consumidores? Neste Comentário, fala sobre a questão Hideo Kumano, economista-chefe do Instituto de Pesquisa Dai-ichi Life.

“Quando propõem ‘aumentos de 3%’, eles incluem elevações regulares da remuneração pelo critério de senioridade. Nos anos passado e retrasado, foram aumentados em 0,4% salários básicos que excluem esse tipo de remuneração. Há

grande expectativa de que este ano o índice venha a ficar próximo de 1%.

Caso as negociações deste ano produzam aumentos em torno de 1%, haverá um grande impulso no consumo individual.

Espera-se que recentes altas nas ações venham a encorajar o consumo individual no primeiro semestre do ano, sem ter, porém, efeito duradouro. Prevejo o início de uma diminuição gradual do efeito da valorização das ações por volta de abril. Neste sentido, aumentos salariais assumem uma importância maior. Os gastos

dos trabalhadores correspondem a metade do consumo individual. Ou seja, quanto mais os trabalhadores gastam, mais cresce o consumo nacional. Daí a necessidade de acentuados aumentos salariais para os trabalhadores.

O governo do primeiro-ministro, Shinzo Abe, tem usado a sua influência para pressionar por elevações salariais nesta temporada. Indaga-se qual será a avaliação de Abe a respeito dos resultados das negociações salariais deste ano. Está programada para outubro de 2019 a elevação do imposto de consumo, ainda que falte a ordem final a respeito. Muita gente acredita que o resultado das negociações salariais será um grande fator na decisão final a ser tomada pelo governo japonês.”

Comentário (22/01/2018)

Veículos autônomos vão se tornar o transporte do futuro

O governo japonês classificou a tecnologia de direção autônoma como um dos pilares de sua estratégia de crescimento. Os setores público e privado estão trabalhando juntos para desenvolver a tecnologia. Muitos testes de carros autoguiados estão sendo realizados em vias públicas. Hoje, para o Comentário, perguntamos a Minoru Kamata, professor da Faculdade de Pós-Graduação em Ciências de Vanguarda da Universidade de Tóquio, sobre o futuro do sistema de veículos autoguiados.

Kamata diz: “Há vários anos, medidas em prol do desenvolvimento da tecnologia de direção autônoma estão sendo realizadas com maior rapidez, não apenas no Japão mas em todo o mundo.

A tecnologia têm várias vantagens. A mais importante é a segurança. Segundo especialistas cerca de 90% dos acidentes de trânsito são causados por falha humana. A automatização pode remover este fator de risco. Outra vantagem é que a tecnologia ajuda a lidar com o problema de

falta de motoristas. Como a população e a oferta de mão de obra estão diminuindo no Japão, o país vai sofrer com uma séria escassez de motoristas no setor da logística.

Há duas abordagens para a realização da direção autônoma. Uma é a abordagem das maiores fabricantes de automóveis, que consiste em desenvolver e melhorar cada uma das técnicas de auto direção. Por exemplo, no estágio atual, o motorista fica basicamente responsável pela direção do veículo, enquanto os sistemas auto-

máticos lidam com várias funções, como o freagem, mas as montadoras estão gradualmente refinando as funções automatizadas.

Empreendimentos e firmas de tecnologia de informação empregam uma outra abordagem. Elas tentam prover o chamado serviço móvel, que vai criar um sistema de transporte autônomo totalmente automatizado em regiões limitadas e sob certas condições. Tais serviços deverão oferecer soluções para o problema de acidentes de trânsito causado por motoristas idosos. Novas tecnologias precisam satisfazer altos padrões de segurança e confiabilidade antes de serem disponibilizados comercialmente e aceitos pela sociedade.



Estas notícias são produzidas pela
NHK WORLD RÁDIO JAPÃO.
nhk.jp/portuguese

Coreia do Norte (26/01/2018)

Premiê do Japão promete impor mais pressão para resolver questão de sequestros por parte de agentes norte-coreanos

O primeiro-ministro do Japão, Shinzo Abe, prometeu impor mais pressão contra a Coreia do Norte de forma a ajudar a resolver o caso dos sequestros de cidadãos japoneses por parte de agentes daquele país.

Na quinta-feira, Abe se encontrou, em Tóquio, com membros de um grupo de familiares dos cidadãos sequestrados. A reunião aconteceu quatro dias após o grupo ter concordado com um plano de ação para este ano, que visa solucionar a questão dos sequestros até o final do ano. Mais de 40 anos se passaram desde a ocorrência do primeiro caso de sequestro.

Abe disse que é extrema-

mente lamentável que a questão continue sem solução apesar de tantos anos terem se passado desde o primeiro incidente.

Ele disse que as atenções não devem ser focadas nos programas nuclear e de mísseis de Pyongyang em detrimento da questão dos sequestros. O plano de ação do grupo exorta o governo japonês a realizar conversações significativas com a Coreia do Norte oferecendo, por exemplo, compensações como suspensão de sanções unilaterais impostas por parte de Tóquio.

Desarmamento Nuclear (26/01/2018)

Abe pede realismo no desarmamento nuclear

O premiê japonês, Shinzo Abe, disse que deseja buscar um mundo livre de armas nucleares de um ponto de vista realista, em um momento no qual a iminência da ameaça norte-coreana faz do guarda-chuva nuclear americano um imperativo absoluto.

O premiê fez a declaração na sexta-feira perante a Câmara Alta em resposta ao líder do partido Komei, da coalizão governista.

Natsuo Yamaguchi fazia referência ao fato de o Japão ter deixado de assinar um tratado da ONU com força de lei sobre a proibição de armas nucleares. Ele disse que o tratado é um “esforço histórico” para criar um padrão internacional.

Yamaguchi afirmou que o Japão deveria exercer um papel de liderança na redução de diferenças entre po-

tências nucleares e países que não possuem essas armas, já que é a única nação a já ter sofrido bombardeios atômicos.

Abe respondeu dizendo que os programas de desenvolvimento nuclear e de mísseis da Coreia do Norte constituem uma ameaça grave e iminente para a paz e segurança do Japão. Ele afirmou que a manutenção da dissuasão tanto com armas convencionais como nucleares sob a aliança nipo-americana é essencial para fazer frente a essa ameaça. O premiê acrescentou que o Japão precisa manter uma postura realista, lidando de maneira apropriada com ameaças reais à segurança, ao mesmo tempo em que lidera esforços em prol de um mundo sem armas nucleares.

Ministérios e agências do governo ligados ao setor precisarão discutir esta questão e criar padrões objetivos que terão de ser satisfeitos para a comercialização.

Há questões legais também. Até agora, o motorista tem sido responsabilizado por quaisquer acidentes, a menos que o veículo apresente um defeito. Agora precisamos pensar sobre quem será responsabiliza-

do, e como, caso haja problemas envolvendo os veículos autônomos. Em algumas décadas talvez a maioria dos veículos terrestres se tornará autônoma. Isto vai mudar drasticamente as relações entre seres humanos e automóveis e o trânsito, quando será necessário que tudo seja redesenhado, desde nossas estradas até nossas cidades.”

Aplicativos gratuitos da **NHK WORLD**
TV em inglês em 24 horas

NHK WORLD TV 🔍

*Para iOS, Android e Amazon Fire

